

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第123号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年8月8日 12時14分ごろ	
発生場所	福岡県福岡市西区小呂島沖 小呂島港西2号防波堤灯台から真方位344° 7.9海里付近 (概位 北緯33° 59′ 東経129° 59′)	
事故等調査の経過	平成21年8月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 ^{ベガダボス} VEGA DAVOS (リベリア)、7,464トン 9358527 (IMO番号)、MS ^{ベガダボス} VEGA DAVOS ^{シッピング} SHIPPING CO.LTD</p> <p>B 漁船 ^{ゆき} 幸丸、4.9トン FO3-33024 (漁船登録番号)、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 二等航海士A、外国免状</p> <p>B 船長B、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	B 負傷1人（船長B：打撲等）	
損傷	<p>A 右舷外板部の擦過傷</p> <p>B 船首部の圧損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長ほか15人が乗り組み、二等航海士A及び甲板手Aが当直を行って約14.5ノット(kn)の速力で中国上海港に向けて西進中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、福岡県志摩町野北漁港^{のぎた}に向けて約15～16knの速力で自動操舵により南進中、平成21年8月8日12時14分ごろ、小呂島沖において、A船右舷外板部とB船船首部とが衝突した。二等航海士Aは、海図室で作業を行い、また、船長Bは居眠りをしていた。 B船は、自力で野北漁港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1.5～2m</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、二等航海士Aが海図室で作業を行い、また、B船は、船長Bが自動操舵として居眠りに陥り、両船とも相手船に気付かなかったものと考えられる。 甲板手AはB船に気付かなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、小呂島沖においてA船が西進中、B船が南進中、A船がB船に気付かず、また、B船は船長が居眠りに陥ってA船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	